

令和5年度第2回草津市健幸都市づくり推進本部会議（論点整理）

審議1

草津市健幸都市基本計画の各施策の主要な取組の実績（令和4年度） および計画全体の総括について

《概要》

- 別添資料1、2の内容は、12月下旬に開催予定の草津市健幸都市づくり推進委員会（外部委員会）の資料となります。
- 草津市健幸都市基本計画（平成29年度～令和4年度）は、令和4年度末で計画期間満了となったため、今回は、令和4年度の主要な取組の実績に加えて、3つの基本方針「まちの健幸づくり」「ひとの健幸づくり」「しごとの健幸づくり」ごとの達成状況および全体目標の達成状況を評価して記載しています。

《論点》

以下の点について、確認をお願いします。

- 資料2に記載している各取組の令和4年度の実績（P.4～P.17）について、各基本施策の方向性に沿った事業の進捗が図られ、適切な評価が記載できているか。
- 基本方針（P.18～P.20）および全体目標（P.21）の成果・課題等の内容について、適切な評価が記載できているか。

審議2

健幸都市づくり（令和5年度以降）に係る参考指標（バロメーター）および主な関連事業について

《概要》

- 草津市健幸都市基本計画に代わり、令和5年3月に策定した草津市健幸都市づくり基本方針は、将来ビジョンに「健幸創造都市」を掲げる第6次草津市総合計画を補完するものとして整理しているため、従前の健幸都市基本計画のように個別の事業・取組を位置付けていません。
- 基本方針では、総合計画を推進することで、健幸都市の実現に繋がるという考え方をとっていることから、本市の健幸都市づくりの評価は、総合計画の施策評価をもって行うことが考えられるものの、現状、健幸都市づくりの視点でまとめているものではないため、これをそのまま活用することは難しい状況です。
- こうした点を踏まえ、今後、健幸都市づくり（令和5年度以降）の進捗管理・評価を行っていくにあたり、全体目標として設定している2つの指標（健康寿命と主観的健幸感）の状況の公表に加え、その考察を行う際に活用する参考指標（バロメーター）として、総合計画のベンチマークをピックアップして設定するとともに、要因分析を行う際、必要となる各施策の方向性に沿った主な関連事業について例示しました。（別添資料3）

《論点》

以下の点について、確認をお願いします。

- 4つのキャッチフレーズ（基本方針）の取組状況を推し量る参考指標（バロメーター）としてピックアップした総合計画のベンチマーク指標、また、施策の方向性の内容に沿って掲載した主な関連事業が、適切であるかどうか。